

週刊センターニュース No.23



第23号(2004年8月20日) 毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

共同学習会のご案内

- 第34回 日時: 8月23日(月) (13時 ~ 14時30分)
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室
講師: 岡澤孝雄(留学生センター)
題目: 「留学生向け授業を教養的科目として開講する試みについて」
趣旨: 現在、留学生センターが留学生向けに開講している科目のうちには、日本人学生も受講が望ましい、あるいは日本人学生とともに受講することが留学生にとって有益であるものも多い。教養的科目として開講するために何が必要か、議論する。
- 第35回 日時: 9月1日(水) (13時30分 ~ 15時)
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室
講師: 青野透(大学教育開発・支援センター)
題目: 「非常勤講師の削減問題について」
趣旨: 全学的に検討中である非常勤講師削減問題について、話題提供者は次のように考えます。<非常勤講師の手当について全学的な経費の支出を求める場合は、各部局は全学に対して、次のような説明責任がある。その科目開講の必要性 隔年開講等の対応策の検討結果 他部局を含めて学内に適任者がいないことの確認 依頼予定の非常勤講師の適切性(旅費などがあまりかからない近県から適任者を探す努力をした結果であることを含む)。これに加えて、例えば、全学出勤である教養教育については、学部教育担当等が忙しいという理由による担当回避には正当性がない、過去の担当実績を勘案した担当計画を立てるべきである(今年度までの担当実績が少ない教員は来年度に多めに担当)、本学の教養を担当せずに他大学での非常勤を担当しているような例があるとすれば是正すべきである、さらに、「学生による授業アンケート」を実施している非常勤教員や教養教育全学研究会に参加している非常勤教員の場合は担当の適切性について一定の補強証拠となりうる>。これらを中心に議論します。

日本高等教育学会第7回大会に参加して

去る7月24日(土)~25日(日)の2日間、東京都渋谷区東の國學院大學において、日本高等教育学会第7回大会が開催されました。初日の参加者数だけで、300名近くに達するなど、大会は大変な盛況でした。

研究報告は、課題研究1「国立大学法人の設計」、課題研究2「e-Learning 戦略の今」を軸に行われたほか、大会2日目には、公開シンポジウム「職業大学院の現状と将来」も開催されました。また両日に亘り、自由研究発表が、21分科会に別れて行われました。報告数は、全体で78件にも上り、その内訳は、課題研究発表6件、シンポジウム発表3件、自由研究発表69件でした。ちなみに、筆

者（早田）は、自由研究発表「大学の質保証」部会において、「法科大学院の認証評価とその特質」というタイトルで報告を行いました。

今次大会の特色としては、印象として、国立大学関係者の参加者の数が例年以上に多かったこと、フロアからの発言者も、国立大学に籍を置く人々に偏っているように感じられたこと、大学経営（戦略論）やそれと関連付けられた大学評価に関する報告に関心が集まる一方で、教育内容・方法や教育改善の取組み等に関しては報告件数それ自体がそれほど多くないようにも思われたこと、などが挙げられます。

今次大会のそうした特色は、今年4月より、国立大学法人制度と認証評価制度が同時並行的にスタートしたことと相俟って、大学のガバナンスやマネジメント、大学評価の問題に高等教育研究者の関心が集まったことの当然の帰結だったのかもしれませんが。（文責 早田）

共同学習会への話題提供のお願い

大学教育開発・支援センターでは、昨年度末より教育改善や法人化後の大学環境の変化など、多様な視点から、教職員の間で自由に議論できる場を提供すべく共同学習会を企画してきました。今後も皆様のご意見やご希望を反映させながら企画を進めて参ります。例えば、授業作りやFD関連の話題なども共同学習会で重点的に取り上げていきたいと考えております。日常的な教育実践についてご紹介いただけたらと思います。共同学習会への話題提供をお願いいたします。

センター教員活動記録（8月2日～8月20日分）

出張報告

2004.8.4 「大学国際化の評価指標策定に関する実証的研究」(科研)打合せ参加
大阪大学(堀井 科研費出張)

2004.8.5,6 PCカンファレンスへ参加 神戸大学(堀井 公費出張)

2004.8.6 第三回まち塾へ参加 会場：長町研修館 (青野)

2004.8.9 平成16年度教養教育担当に関する初任者研修にて説明
「大学評価の現状と金沢大学の教育評価」 (早田)

2004.8.9 金沢大学フォーラム in 大阪の運営(青野、西山、堀井 公費出張)

2004.8.20 平成16年度IDE大学セミナープログラム 「学生が輝く教育
プログラムの開発」(主催：民主教育協会東海支部)会場：名古屋大学シンポジオン
(青野 公費出張)

業績報告

青野 透(単著)「臓器移植法改正問題と『移植医療の適正な実施』」

『東北医学雑誌』第116巻第1号、2004年6月、16-18頁。

2003年11月に開催された「第353回東北医学会例会シンポジウム」での招待講演にもとづくもの。(抜き刷り残部がありますので、ご希望の方は青野までご連絡ください)